

## いじめ根絶に向けての取組の強化に関する意見書

いじめを受けていたとされる滋賀県大津市の中学生の自殺事件は、全国の教職員など学校関係者、保護者をはじめ、国民に大きな衝撃を与えました。

この事件に心を痛める国民のみなさんから、「なぜ学校で、こうした事態が繰り返されるのか」「どうすれば孤立に苦しむ子どもたちを救うことができるのか」などの声が広がっています。今、いじめ問題は、どの学校でも起こり得る極めて広範囲な現象となっています。

こうした中で、文部科学省は東京都をはじめとする全国の自治体で「いじめ緊急実態調査」を実施しました。これらの調査結果をもとに、いじめを人権問題としてとらえた予防教育を充実すること、人間を大切にする教育を充実させることが必要であり、二度とこうした悲しい事態を起こさないためにも、子どもたちに人間としての生き方を教える学校づくりを進めることが求められています。

よって、墨田区議会は国会及び政府に対し、憲法と教育基本法に則り、子どもたちに寄り添える教育環境の整備など、いじめを根絶する取組の強化を図ることを要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成24年9月28日

墨田区議会議長名

衆議院議長	}	あて
参議院議長		
内閣総理大臣		
総務大臣		
文部科学大臣		